

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

新 年 の ご 挨 拶

佐久間 靖 博

(浪速区医師会 会長)

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年末の慌ただしいなか、衆議院選挙が行われました。3年半ほど前に行われた政権交代は何だったのでしょうか。政官業の癒着、不況、短期間の首相の交代などに嫌気をさした国民が、閉塞感の打破を期待し、こぞって民主党に投票しました。結局は行政改革などもままたないうち、財務省のシナリオ通りに、マニフェストに無かった消費税増税だけを決定し、国民を裏切ったとして、元の自民党に政権を還しました。自民党も前回の敗北を糧にして、国民本位の政治に徹してくれることを願いたいところですが、初っ端から公共事業、そして経済財政諮問会議の復活と元に戻ったみたいです。

昨年4月には日本医師会長選挙も行われました。結果は副会長であった横倉氏が、会長であった原中氏を破り会長に就任しました。民主党支持の前会長から、自民党にかかわっていた現会長に代わったことは、今となっては幸いだったでしょう。

日医は現在の重要課題として、社会保障・税一体改革や地域医療の再興などを掲げています。これは主として高齢者医療を意味して

います。ご存知の通り我が国は超高齢化社会に突入しており、2017年には、75歳以上の高齢者数は、65～75歳の人口を追い抜き2025年ごろまで急増します。高齢者医療費の給付が急増すれば制度の維持が困難となってきます。消費税増税はそれを補填すべく社会保障目的税とされているので、増収分はすべて社会保障に充当すべきです。しっかり注視する必要があります。

また消費税増税が医療機関に損税を発生させ、負担を強いられることも気がかりです。診療報酬などに対する消費税の非課税制度を、仕入税額控除が可能な課税制度に改め、かつ患者負担を増やさない制度に改善して欲しいものです。

国は社会保障の機能の充実と安定財源の確保のため、社会保障制度改革国民会議を発足させましたが、給付抑制による世代間格差解消も考えていくようです。規制制度改革やTPPの流れがこのままいくと、混合診療の解禁を端初に国民皆保険制度の崩壊に繋がる可能性があります。今年夏の参議院選挙のあとが要注意ですね。会員の皆さんも医政に関心を持って頂きたいと希う次第です。

我々医療サイドも、無駄な医療については、心しなければなりません。常に患者さん本位の良質な医療を提供することに心がけましょう。胃ろうの設置も基準を設ける必要があります。



ます。

認知症の問題も深刻です。専門家の間では、すでに65歳以上人口の約10%、240万人に達しているともいわれています。2020年には325万人と予想されています。最大の危険因子が加齢ですので致し方ないことですが、介護をしている家族の負担は計り知れないものです。認知症等高齢者支援地域連携事業が実動しつつあります。

暗い話の中、iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授が、日本人医師として初めてノーベル医学・生理学賞を受賞されました。誠にめでたいことであり、日本の医療人としても大きな誇りです。近い将来、臨床への応用が期待されます。

さて我が医師会ですが、本年一般社団法人として初めての報告を出さなければなりません。当医師会には、あの難解な法人移行をほぼ独学で成し遂げた優秀なスタッフがいるので大丈夫と思います。

そして当医師会の最大の事業でありますブルーカードシステムは、前号で有田副会長が詳しく明快に説明されていましたが、協力病院も徐々に増えており、周辺医師会や府下の医師会も興味を示し、また日本の遠い地域からも問い合わせが来るなど、全国から大きな関心が寄せられております。きわめて現実的に医師会員の誰もが参加できる優秀なシステムと、一番の目的が患者さんやその家族の安心を確保することにあるということが理解されてきたということでしょう。久保田理事はたくさんの地区医師会や病院などでプレゼンテーションのため飛びまわっています。今年もどんな展開になっていくのか楽しみです。

また、いろいろな医師会活動につきまして、会員の皆様方に多大のご協力を頂き、感謝しております。本年も会員の皆さんが浪速区医師会を有効利用できるよう、また親睦の場となるよう、より良い医師会の実現に向けて私も執行部共々頑張っています。

最後になりましたが、本年が会員の皆様方にとって良き年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事会報告



◎平成24年度 12月定例理事会

日 時 平成24年12月21日〈金〉

午後8時～9時35分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 理事会の開催について <佐久間会長>
理事会の開催回数を月2回から1回へと変更したい。また同時に、理事会開催前に予め協議内容の確認をしておくための総務会を設置したい。

協議の結果、了承、次のとおりに決定。

- ①理事会の開催回数は、第4金曜日午後8時からとし、年間予定表を作成する。ただし、臨時に開催する場合もある。
- ②総務会の開催は、第2金曜日午後2時からとし、出席者は会長、副会長、庶務担当理事、監事とする。

2. 産業医部会・感染症対策委員会の委員について <佐久間会長>
標記委員の再確認をしたい。

次のとおりに決定。

- ①産業医部会
部会長（産業保健担当副会長）
菱川秀夫
副部会長（産業保健担当理事）
金田高次
常任委員（産業保健副担当理事）
木田 徹
- ②感染症対策委員会
委員長（会長）
佐久間靖博
委員（副会長）

澤井貞子 有田繁広 菱川秀夫
(感染症対策担当理事)
奥山明彦 川田信哉 中村泰久
(学校医)
橋村直隆 徳田好勇 金田高次
工藤俊次郎 藤吉理夫 本田秀明

3. 新年互礼会の来賓について<佐久間会長>
資料のとおりとしたい。

協議の結果、了承。

4. 大阪市介護認定審査会委員(任期:平成25
年4月~27年3月)について
<佐久間会長>

介護認定審査会委員の任期が、来年3月末
日をもって満了となる。今期委員に、留任
の応・否を確認したい。

提案どおり了承。
辞退する者が出た場合は、公募すること
となった。

5. 浪速区障がい者・高齢者虐待防止連絡会議
の委員推薦について <佐久間会長>
浪速区保健福祉センターより標記委員につ
いての推薦依頼があった。
標記会議は、平成19年に設置した「浪速区
高齢者虐待防止連絡会議」を、「障がい者虐
待の防止、高齢者の養護に対する支援等
に関する法律」(平成24年10月1日施行)の施
行に伴い、「障がい者・高齢者虐待防止連
絡会議」と改めたものである。
ちなみに「浪速区高齢者虐待防止連絡会議」
の委員は、橋村理事である。

協議の結果、引き続き、橋村理事を推薦
することに決定。

6. 主治医意見書作成のためのケアマネジャ
ーへの連絡票について <有田副会長>
資料のとおり連絡票を作成したい。

協議の結果、了承。

7. かかりつけ医申請書(地域連絡室用)につ
いて <有田副会長>
資料のとおり申請書を作成したい。

協議の結果、了承。

8. 平成25年度今里休日急病診療所出務医師
割当について <原田理事>
標記診療所への出務医師割当について資
料のとおり案をまとめた。協議願いたい。

協議の結果、了承。

日 程	出務医師名	時 間
5月12日 日	木田 徹 川田信哉	10:00~17:00
7月7日 日	山田郁子 川田信哉	10:00~17:00
9月1日 日	金田高次 川田信哉	10:00~17:00
10月13日 日	篠原嘉伸 有田繁広	10:00~17:00
11月3日 日	佐井吉永 橋村直隆	10:00~17:00
12月22日 日	藤吉理夫 縄嘉津記	10:00~17:00
平成25年		
1月5日 日	中山博文 井上宏之	10:00~17:00
2月2日 日	竹中裕昭 本田秀明	10:00~17:00
平成26年		

9. 大阪市(環境局・浪速区役所)の産業医
について <金田理事>
標記産業医は25年3月末で任期満了と
なる。現産業医から、任期満了後の後任
産業医として推薦したい医師がいるとの
申し出があったが、本会に入会していな
い。入会していない医師の推薦の可否に
ついて協議願いたい。

協議の結果、本会宛に推薦依頼が来て
いるので、会員を推薦することとし、
本会への入会を依頼することになった。

10. その他
(1) 産業医部会の規約について

新法人に移行後も、標記規約を承認することとする。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

(12月20日〈木〉) <佐久間会長>

次第は次のとおり。

▷ 開会

▷ 会長挨拶

▷ 連絡事項

- (1) 生活保護が廃止(打ち切り)になった場合のレセプト請求に関するアンケート調査結果と今後の対応の件
- (2) 予防接種法改正による7ワクチンの定期接種化を実現するための署名活動の件
- (3) 1月度行事・会合日程の件

▷ 閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について

(12月17日〈月〉) <佐久間会長>

次第は次のとおり。

▷ 西成特区結核健康診断の件

▷ 大阪市介護認定審査会委員の推薦の件

▷ その他

(詳細 略)

3. 医療問題研究委員会について

(12月12日〈水〉) <富永理事>

次のテーマに沿って意見交換が行われた。

テーマ「最近の指導・監査の動向」

(詳細 略)

4. 病診連携委員会について

(11月26日〈月〉) <金田理事>

次第は次のとおり。

▷ 第37回病診連携委員会報告について

▷ ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について

▷ 病診連携委員会のアンケート結果について

▷ 大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネ

ットワーク事業について

▷ 河内医師会の取り組みについて

▷ 大阪府医師会医学会総会について

▷ その他

(詳細 略)

5. その他

なし。

次回会議

平成25年1月25日(金) 午後8時～



2月度学術講演会のお知らせ

2月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成25年2月23日〈土〉 午後2時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「脂質低下療法は誰に

どこまで必要か？」

講師：大阪市立大学大学院 医学研究科

循環器病態内科学

准教授 島田 健永 先生

浪速区医師会 活動の伝言板

平成25年2月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三歳児健診

●保健福祉センター

2月28日〈木〉午後1時40分～3時30分

眼科 澤井 貞子

耳鼻科 大野 聡史

BCG接種

●保健福祉センター

2月21日〈木〉午後2時～3時30分

本田 秀明・北村 栄作

特定健診

●保健福祉センター

2月11日〈月祝〉午前9時15分～12時

山田郁子・山口貴也

産業医健康相談窓口

●大丸デパート心斎橋店8F

2月23日〈土〉午後2時～4時

工藤 俊次郎

●浪速区医師会

2月5日〈火〉午後2時～4時

菊井 祥二

2月15日〈金〉午後2時～4時

北村 栄作

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。多数のみなさま方の参加をお待ちしております。（ときに時間変更される場合がありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。）

囲碁部 毎月第1・3・5（土）
（川田 信） pm 5：00～

税務講習会

標記講習会を下記のとおり開催いたします。皆様ご参加下さい。

記

日時 平成25年2月6日〈水〉

午後2時～3時

場所 浪速区医師会 会議室

テーマ 確定申告について





あとがき

H.H.

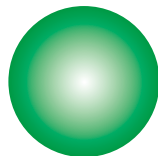
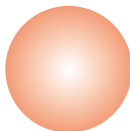
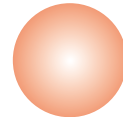
ノロウイルスによる感染性胃腸炎が下火になった直後の新年から今度はインフルエンザの流行。会員の皆さんは、お正月ののんびりムードが吹き飛んだ事とお察し致します。

昨日 1 月 19 日、恒例の浪速区医師会新年互礼会が行なわれました。ご来賓の方々も多く参加されましたが、初めてお会いする方が沢山居られ、時の流れを痛感いたしました。(私が高齢になり、地域社会との関連が少なくなったためですが)。

佐久間会長の挨拶はウイットに富んだ、しかも分かりやすい、すばらしい内容でした。ただ、挨拶の終盤、少し尻切れトンボになりました。

私としては、ブルーカードについてももう少し詳しく説明下さればと思いました。が、締め挨拶で澤井副会長が、ブルーカードについて詳しく説明されました。

宴会後の二次会で、会長が「実は挨拶の中で、頭が空白状態になり何を言ったか思い出せなかったが、実はブルーカードの詳しい説明だった」と告白されました。会長と副会長が、阿吽の呼吸で補い合える浪速区医師会のすばらしさを確認できたうれしい一日でした。



目 次

	目 次	ページ
巻 頭 言		
新年のご挨拶	佐久間靖博	1
理事会報告 (12月開催)		2
2 月学術講演会のお知らせ		4
浪速区医師会活動の伝言板		5
あとがき		6

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サ ビ